

名 称 在 所	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造・階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼損面積(延面積))	死 傷 者
磐光ホテル		昭和44年2月5日 出火21時00分ころ 覚知21時15分 覚知別 加入電話 鎮火2月6日3時30分	耐火造 % 建 9,532.432m ² 延 21,116.728m ²	①・半・部・小 15,510.99m ² (74%)	死者 30名 傷者 35名 (8)
福島県郡山市 熱海町高玉字伸井39	ホテル (5)イ				

I 火災概要

① 概要	この火災は、舞台裏控室でショーの準備中、裸火及び危険物品の取扱い不注意により、ショーに使用するタイマツからベンジン(危険物品)に引火し急速に延焼拡大していったが、警報設備のベル停止・通報の遅れ・避難施設の管理不良・避難誘導の不適等、防火管理体制の欠じよから避難時期を失した宿泊客等は大混乱となり、30名の焼死者を出すという惨事となった。						
	(磐光ホテル)						
② 階別状況	階	床面積	焼損床面積	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等
		m ²	m ²				消防用設備等
	4	1,129.416	1,129.416	大広間他			屋内階段 (通)
	3	1,595.457	1,595.457	客室等		2 (男1)	屋外階段 (内)
	2	1,793.672	1,793.672	客室・ロビー他			1箇所 (外)
	①	2,566.940	2,566.940	大広間,客室,浴室		3 (男2)	直 (自)
	計	7,085.485	7,085.485				非ベル (誘)
	(磐光バラダイス)						
	3	2,731.050	2,731.050	客室,プール,遊技場			
	2	1,002.110	1,002.110	客室,浴場,娯楽室			
	1	3,463.863	3,463.863	大広間,食堂		25 (男17)	
	計	7,197.023	7,197.022				
	(レストハウス)						
	2	291.03	291.03	客室,その他			
	1	937.45	937.45	客室,ロビー他			
	計	1,228.48	1,228.48				
	合計	21,116.728	15,510.99		約290	30	※業務用放送設備
③ 出火場所	(階,室,部位,可燃物状況,居室・非居室,在・不在) ○磐光ホテル1階大広間舞台裏の控室から出火 ○控室のステージとの間仕切り及び天井部分は合板にクロス張りで畳を敷いてある。 ○金粉ショーを準備中のダンサーがタイマツ4本にベンジンをしみこませ、採暖用の石油ストーブの傍へ立てかけておいた。				④ 出火原因	金粉ショーに使うタイマツの両端にベンジンをひたしたものと石油ストーブの脇に置いたため、これに引火したもの。	

⑤ 火 災 の 延 焼 經 路 等	(出火部位)	(出火室の拡大)	(他室への拡大)	(上階への延焼)
	1階大広間裏 の控室	控室内のダンボール、衣類 ベンジン等に着火拡大し、 ステージとの間仕切壁に燃 え移る	ステージのカーテン、緞 帳に延焼し、天井部分に 拡大、天井裏を延焼する。	従業員専用階段及びEV シャフトより2階～4階 へと延焼拡大する
ショーコントロール室において出火した火災は、ステージ間の合板を燃やし、ステージのカーテン・緞張に延焼し一気に天井部分に拡大し、ダクト断熱材（スチロール・ウール）を媒介として天井裏面に拡大した。さらにダクトの隙間を抜け、出火場所北側の便所より4階に通ずる従業員専用直通階段を炎道として各階に広がるとともに、この階段東側に設置予定であったエレベーター室（2基）は4階まで吹き抜けの状態であったため、これより一挙に4階を延焼させるに至った。また従業員階段を上昇した炎は、逐時各階の廊下を延焼、各部屋のダクトを通し拡大、そしてホテル側からパラダイス側へと延焼拡大していった。				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 延焼拡大した主な理由 <ul style="list-style-type: none"> ○ 出火した大広間とパラダイス大広間との接続部の防火シャッターをはじめ、ほとんど全館の防火戸・シャッターが閉鎖されず放置されたため容易に延焼した。 ○ 階段室における各階区画がなく、1階から3階まで同一防火区画となっていたため2・3階に急速に延焼拡大した。 ○ 煙の伝播経路 <ul style="list-style-type: none"> 急激な燃焼に伴い多量に発生した濃煙は、防火区画が皆無の状態であったことから急速に充満していく、階段・エレベーターシャフト等の豊穴を通して一挙に上階へと伝播していった。 				

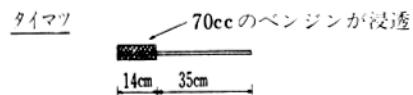
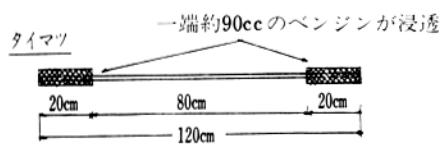
II 火災建物概要

① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (開業) 昭和38年9月 日	昭和38年10月 (増築) 昭和41年5月 日
	② 豊穴の状況	③ 防火管理状況
管 理 状 況	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火管理者は選任届出されている。 ○ 消防計画は未提出（消防署からの再三の指導により自衛消防隊のみ編成した。） ○ 昭和43年12月に消防署・団・ホテル合同の総合訓練を実施したが、個々の任務分担の認識は浅かった。 ○ 夜間における警備は専任の警備員6名をもって業務にあたり従業員約30～35名が常時宿直していた。 ○ 催物の開催届出及び裸火使用的届出がなされていない。
	④ 防火区画等	⑤ 消防用設備等
	1・2・3階を含めた立体的な1500m ² 区画がなされていた。 (出火時に閉鎖された防火シャッターは磐光ホテルとニュー磐光との間のシャッターのみであった。)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法的に適合する設備を設置しているが自主点検・整備等はなされていない。 ○ 自動火災報知設備の受信機は、パラダイスは地区ベル停止、ホテルは主ベル、地区ベルとも停止状態であった。

III 火災後の行動

① 発見状況	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 発見者 (ショー準備中のダンサー) <input type="radio"/> 発見の動機 (タイマツが燃えるのを発見) <input type="radio"/> 発見後の行動 (消火しようとする) 	
	<p>ダンサーAが控室東側においてタイマツにベンジンを浸透させ、すぐ脇の畳の端に並べ4本全部を終了してしばらくしたころ、ぼうっという音とともに突然タイマツが燃え出した。居合せた4名のダンサーは驚き、とっさの出来事のため普段ショーが終了した際に行う消火方法である口による吹き消しを試みたが、かえって炎の上昇をうながす結果となった。</p>	
② 通報状況	<p>通報した <input type="checkbox"/> () 発見後約(15)分 <input checked="" type="checkbox"/> (女性が一般加入電話で通報)</p>	
	<p>消防署への通報は119番ではなく、熱海出張所へ一般加入電話により「磐光ホテルが火事です」と女の声で通報があった。</p>	
③ 初期消火状況	<p><input checked="" type="radio"/> 消火した</p>	<p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>(理由又は状況) 口による吹き消しを試みたためかえって炎が拡大し、その後炬燵布団や消火器・屋内消火栓で消火に当ったときはすでに延焼拡大しており、初期消火の効果がなかった。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 消火しない</p>	<p><input type="checkbox"/> 消火時期 <input type="checkbox"/> 消火困難性 <input type="checkbox"/> 消火方法 <input type="checkbox"/> その他</p>
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 消防隊が現場到着時は、すでにパラダイスホテル・レストランの2階まで炎に包まれ、一部は3階に達している状況であり屋内進入による検索は不能であった。 <input type="radio"/> 瞬間最大風速が25mの強風下の消防活動であったため消火活動における有効注水は極めて困難であった。 	

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項																								
⑤ 避 難 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> (人) ○救 助 <input checked="" type="checkbox"/> (4人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input checked="" type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input checked="" type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> 																								
⑥ 死 者 の 状 況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">健康人</td> <td style="padding: 2px;">30名</td> <td style="padding: 2px;">避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(泥酔者</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">要保護者</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">〔乳幼児</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">高齢者</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">身体不</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自由者</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">〔病 人</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> <td></td> </tr> </table>	健康人	30名	避難上支障となった事項	(泥酔者	名)		要保護者	名)		〔乳幼児	名)		高齢者	名)		身体不	名)		自由者	名)		〔病 人	名)		<ul style="list-style-type: none"> ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input checked="" type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input checked="" type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
健康人	30名	避難上支障となった事項																								
(泥酔者	名)																									
要保護者	名)																									
〔乳幼児	名)																									
高齢者	名)																									
身体不	名)																									
自由者	名)																									
〔病 人	名)																									
	<ul style="list-style-type: none"> ○死者の大部分がパラダイス1階の大浴場入口、階段下付近に発見され、その大半の者が歌謡ショーを行っていた大広間にいたものと考えられ、いっせいに避難した際大混乱を起し避難しきれず、やむなく奥の方（西側）へ避難口を求めて逃げたが急速に拡大した猛煙のため意識不明となり、その場に倒れ焼死したものと思われる。 ○ホテル1階の大広間の3名、パラダイス食堂の3名及び噴水池1名の行動については不明。 ○3階316号の2名は就寝したまま火災に気付かず焼死したものと思われる。 																									
IV 問題点・教訓等																										
<ol style="list-style-type: none"> 1. 出火源となった舞台部の裸火の使用は無届で行われ、また舞台部の綾帳・幕類の防炎処理がなされていなかったため簡単に着火し延焼拡大の素因となった。 2. 自動火災報知設備をベル停止の状態にしていたため宿泊客等に対する通報が遅れ、さらに出火場所及びその附近にいた者が初期消火に専念したため消防機関の火災覚知が著しく遅れ早期の避難・救助活動ができなかった。 3. 階段の防火区画がなされておらず、また各棟接続部の防火シャッターをはじめ、ほとんど全館の防火戸等が閉鎖されずに放置してあったため防火区画型成はできなかった。 4. 玄関出入口及び非常口扉が施錠されかつ避難通路が障害物等により充分に確保されておらず、それらが避難の際ににおける混乱や逃げ遅れの原因となった。 5. パラダイス舞台部で火災を早期に覚知したときに、直ちに客を避難させず、逆に中幕をおろして客の視界から火煙をさえぎり、そのままショーを続行したため、観客の避難時機を失してしまった。 6. 避難開始約5分後に全館が停電し避難を著しく困難にし、又非常照明等も未設置のため、停電と同時に通路・避難口等の位置が不明となった。 7. レジャーセンター付ホテルという名目で、多数の客寄せに営業主力を注いでいる反面、消防計画は未作成で、自主管理の責任体制が確立しておらず防火に関する認識にも欠けていた。 																										



(火災発生時それぞれ2本用意する。)

